



Micro&Fine Technology

 **日本精線株式会社**
NIPPON SEISEN

2025年度9月期 (中間期) 決算説明会

証券コード : 5659

2025年度9月期 (中間期) 決算概要



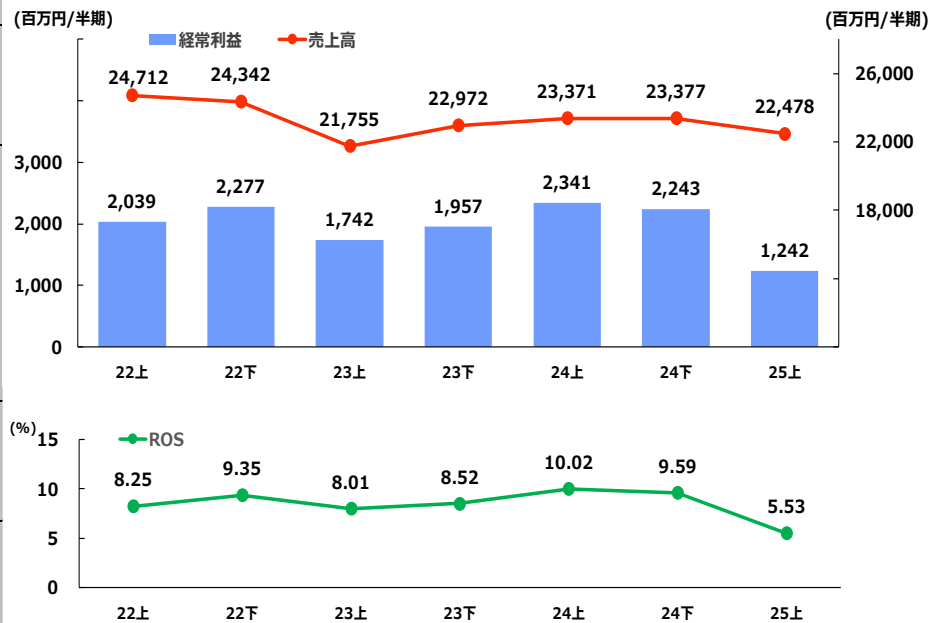
連結売上高・経常利益推移（半期毎）

（百万円/半期）

		24上	25上	増減
売上高		23,371	22,478	▲ 893
セグメント	日本	20,618	20,115	▲ 503
	タイ	2,025	1,932	▲ 93
	中国・韓国	727	431	▲ 296
営業利益		2,318	1,194	▲ 1,124
セグメント※	日本	2,113	1,078	▲ 1,035
	タイ	92	65	▲ 27
	中国・韓国	150	70	▲ 80
経常利益		2,341	1,242	▲ 1,099
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,609	902	▲ 707

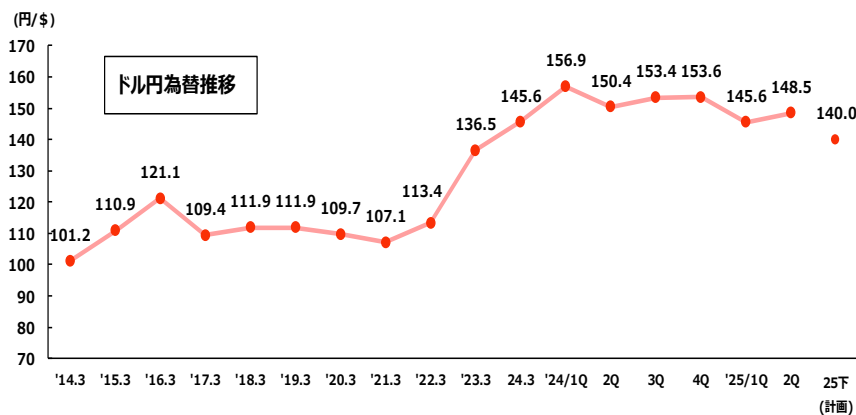
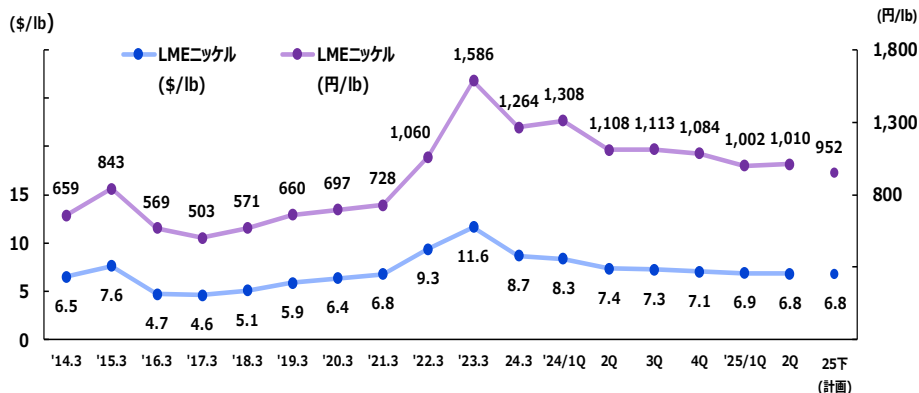
サマリー（前年同期比）

★日本は金属繊維が堅調も太陽光パネル向けステンレス極細線の需要が大幅減、海外はステンレス鋼線・金属繊維とも減収となり、連結で減収減益



※セグメント利益調整前のため合計とは一致しない

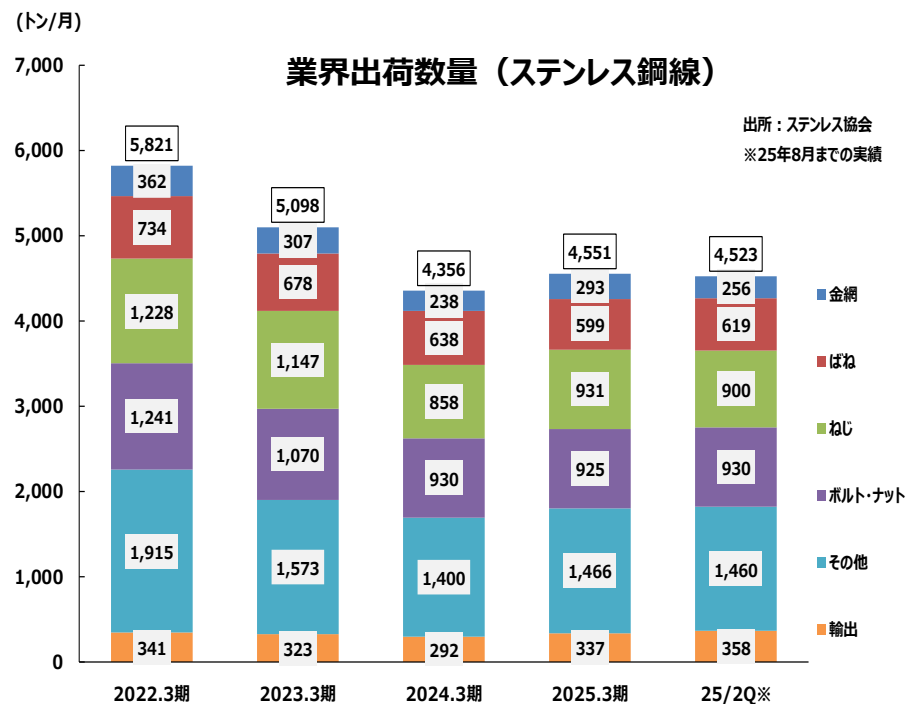
LMEニッケル価格 為替レート



サマリー

- ★ LMEニッケル価格は緩やかな下落基調継続
- ★ 業界出荷数量は23年度に底打ちも低調に推移

業界出荷数量（ステンレス鋼線）

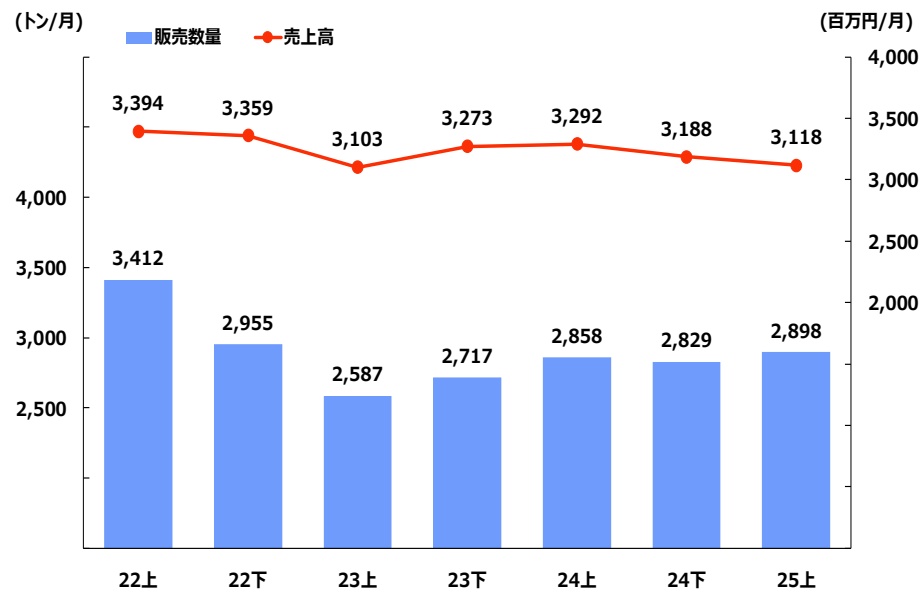


部門別売上高の状況（ステンレス鋼線）

	24上	25上	増減	
販売数量 (トン/月)	2,858	2,898	40	
売上高 (百万円/月)	3,292	3,118	▲ 174	
セグメント	日本	2,927	2,777	▲ 150
	タイ	337	322	▲ 15
	中国・韓国	27	17	▲ 10

サマリー（前年同期比）

- ★ 中国での太陽光発電パネル在庫調整継続で極細線が大幅減
- ★ 高機能・独自製品の一部アイテムで数量増

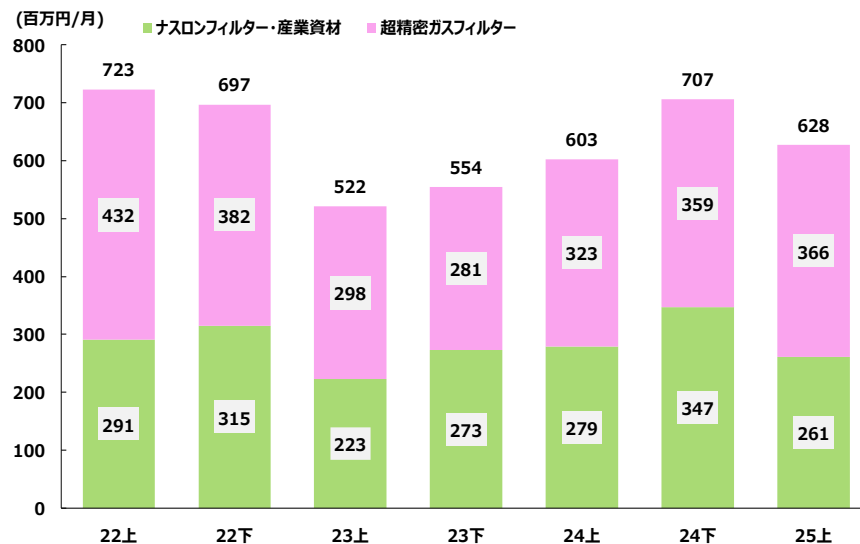


部門別売上高の状況（金属繊維）

売上高 (百万円/月)	24上	25上	増減	
超精密 ガスフィルター	323	366	43	
ナスロン®フィルター 産業資材	279	261	▲ 18	
合計	603	628	25	
セグメント	日本	508	574	66
	タイ	-	-	-
	中国・韓国	93	53	▲ 40

サマリー（前年同期比）

- ★ 超精密ガスフィルターは回復傾向、米国関税回避の仮需も加わり増加
- ★ ナスロン®フィルターはポリエステルやレーヨンなどの化合繊維用が中国向けで大幅減



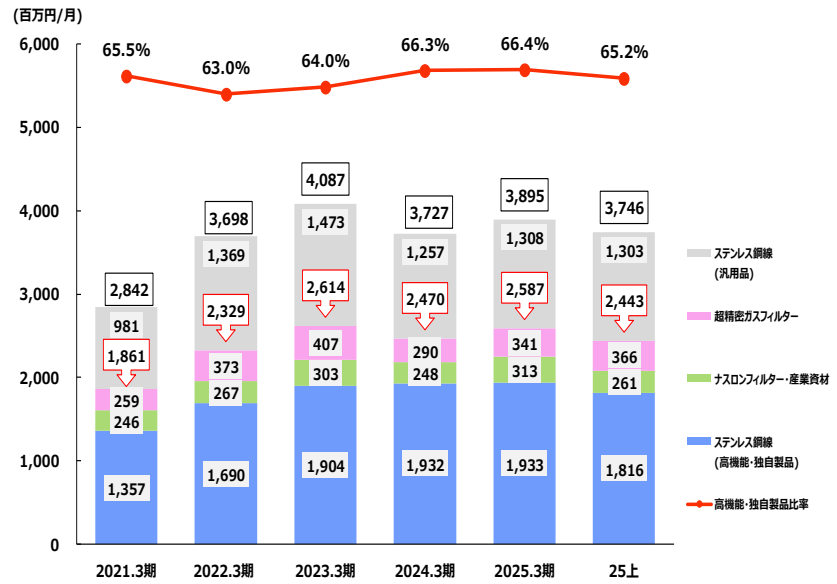
	2025.3	25上	増減
高機能・独自製品 (百万円/月)	2,587	2,443	▲ 144
汎用品 (百万円/月)	1,308	1,303	▲ 5
高機能・独自製品比率 (%)	66.4	65.2	▲ 1.2

サマリー（前期比）

- ★ ステンレス鋼線はばね用材や自動車向けの一部アイテムで増加したものの、極細線減少の影響大
- ★ 超精密ガスフィルターは回復傾向、ナスロン®フィルターは2Qで大型案件なく減少

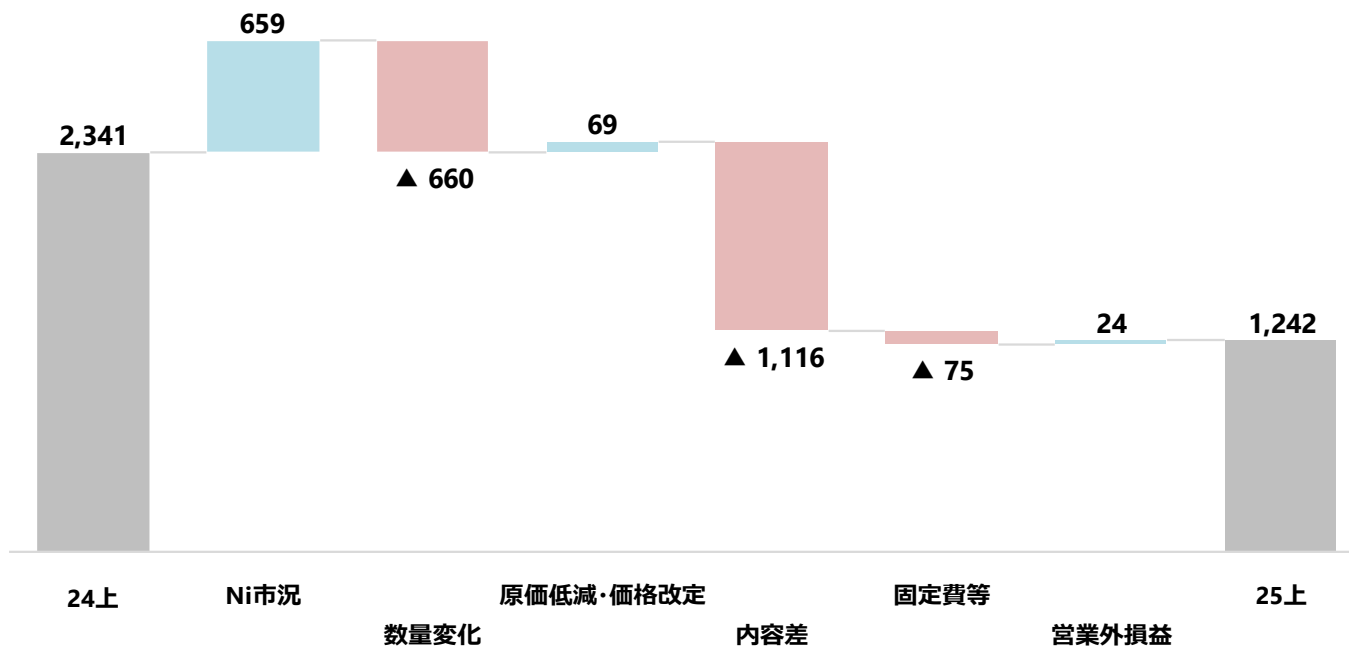
高機能・独自製品一例

- ★ **ステンレス鋼線**
 - ・ばね用材
高強度や高耐熱、超非磁性のニーズに応じたオーダーメイド製品。医療関係や精密電子機器、次世代の水素社会を支える素材
 - ・極細線
線径100μm未満の製品を総称し、高精度・高細密が要求される太陽光発電パネルや電子部品の製造プロセスに欠かせない素材
- ★ **ナスロン®フィルター**
ステンレス鋼繊維ナスロン®を用いた高機能メタルフィルター。高強度、高耐熱で耐食性も優れており、フィルムや樹脂、炭素繊維などの製造の濾過プロセスで利用
- ★ **超精密ガスフィルター**
ナスロン®をもとに製作したメタルメンブレン（膜）フィルター。半導体・フラットパネルディスプレイ等の生産過程でガスの濾過に利用され、半導体製造装置などに組み込まれる



経常利益の変化要因（前年同期対比）

(百万円/半期)



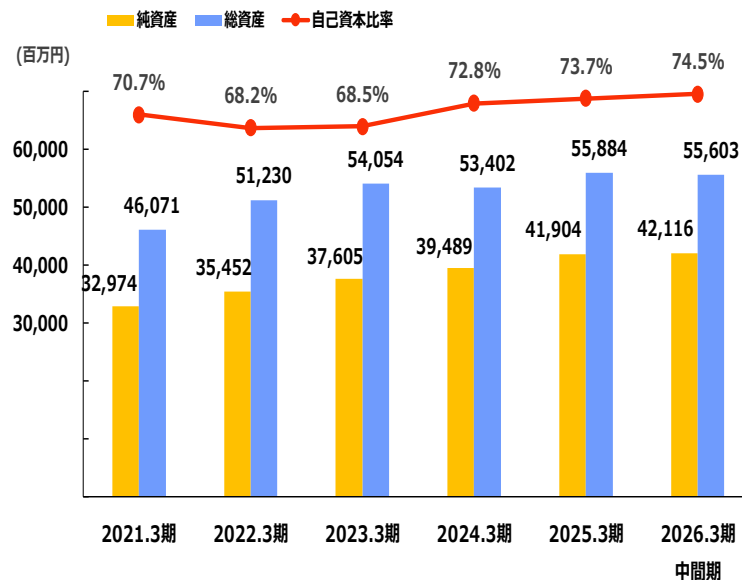
サマリー

- ★ Ni市況：Ni価格下落に伴う材料仕入値下がり益の増加
- ★ 数量変化：ステンレス鋼線の販売量微増も、極細線数量減ほかによる稼働損が増加
- ★ 内容差：極細線の粗利大幅減、金属繊維部門はほぼ前年同期並み
- ★ 固定費：労務費増（ベースアップ実施）

単位：百万円	24年度末	25年度 中間期末	増減
流動資産	38,121	36,996	▲ 1,125
現金及び預金	17,065	16,574	▲ 491
売上債権	9,769	8,817	▲ 952
棚卸資産	10,947	11,250	303
固定資産	17,763	18,606	843
有形固定資産	15,745	16,589	844
資産合計	55,884	55,603	▲ 281
負債合計	13,980	13,487	▲ 493
仕入債権	6,479	6,690	211
退職給付に係る負債	4,212	4,286	74
純資産合計	41,904	42,116	212
株主資本	39,393	39,465	72
負債・純資産合計	55,884	55,603	▲ 281

サマリー（前期末比）

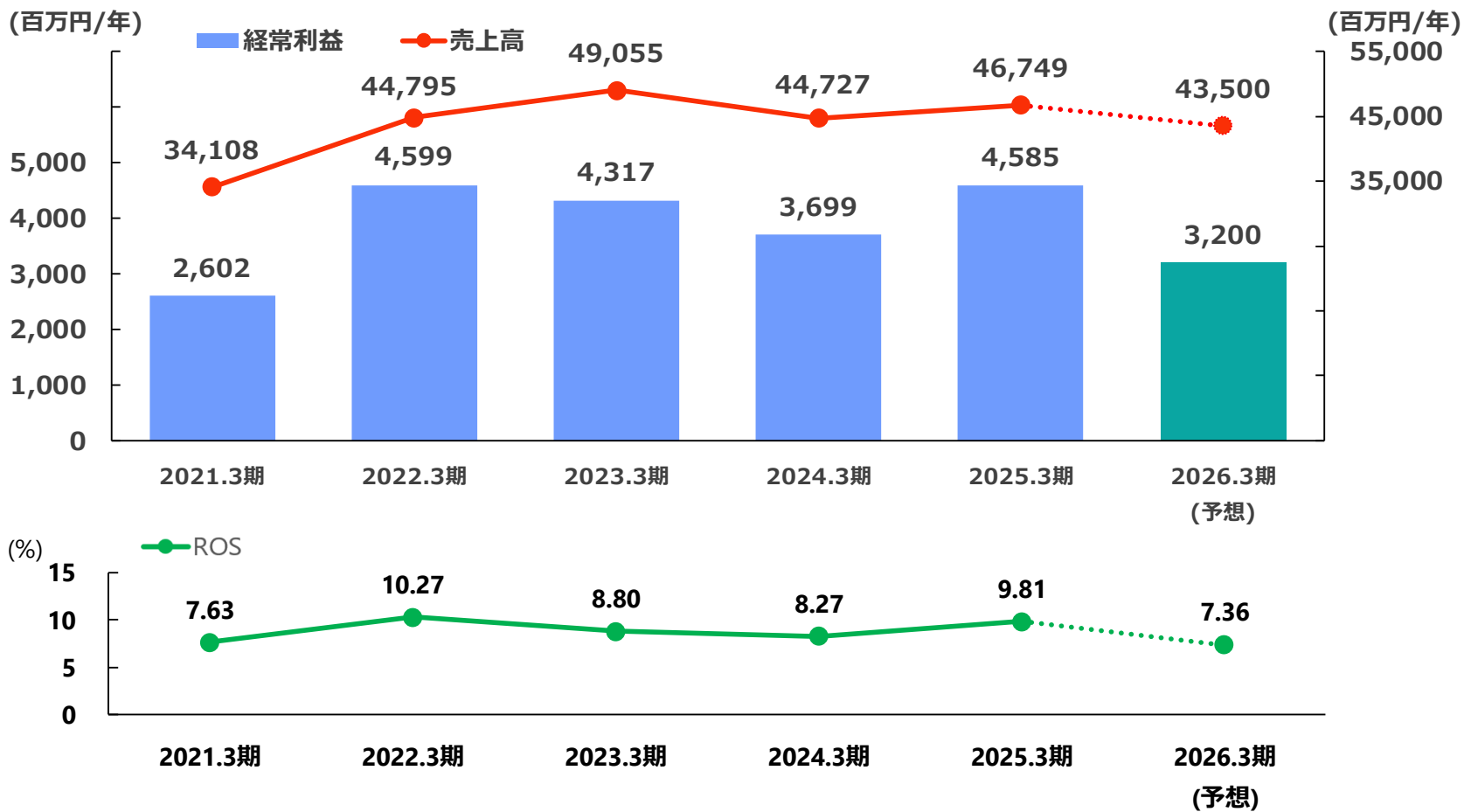
★ 極細線や極細ばね用材増産
に向けた基盤整備、設備投資
を推進中



2026年3月期 業績見通し

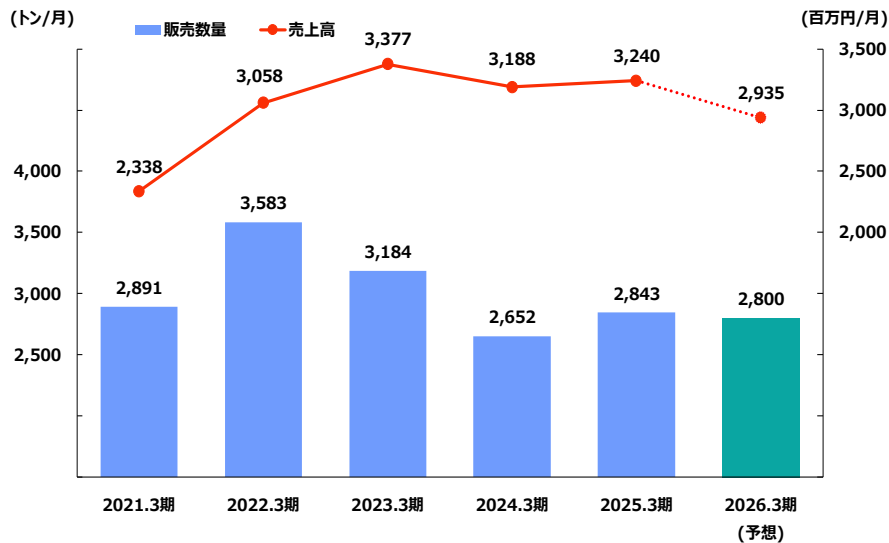


25年4月28日公表の業績見通しを維持

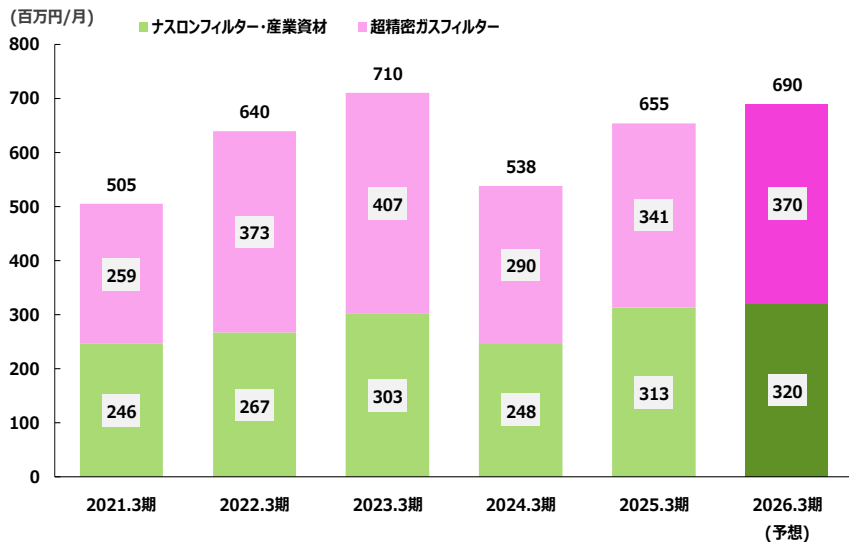


部門別と高機能・独自製品の売上高の見通し

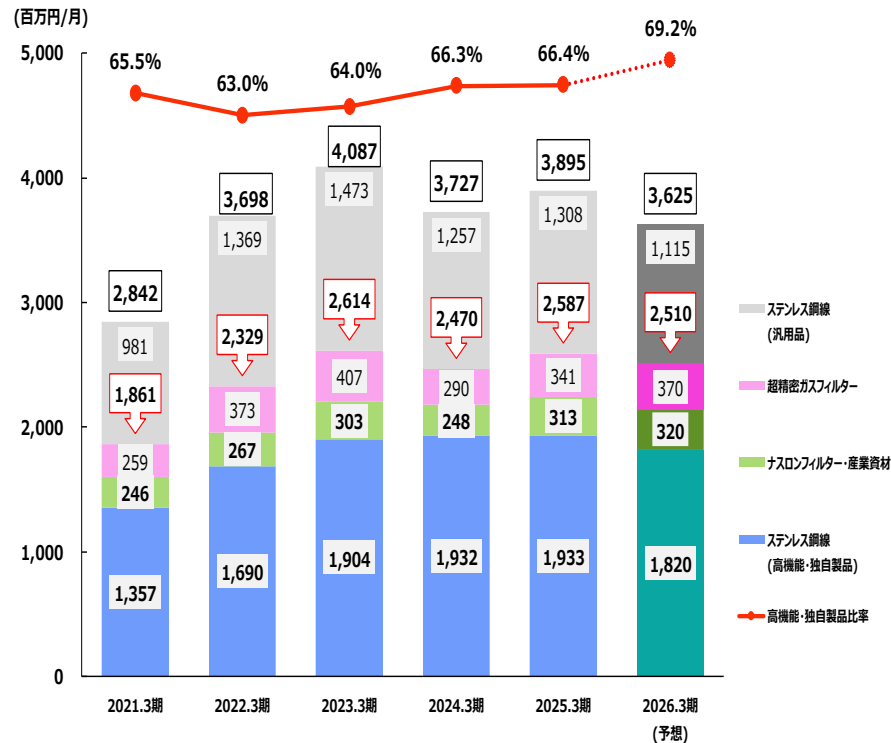
＜ステンレス鋼線＞



＜金属繊維＞



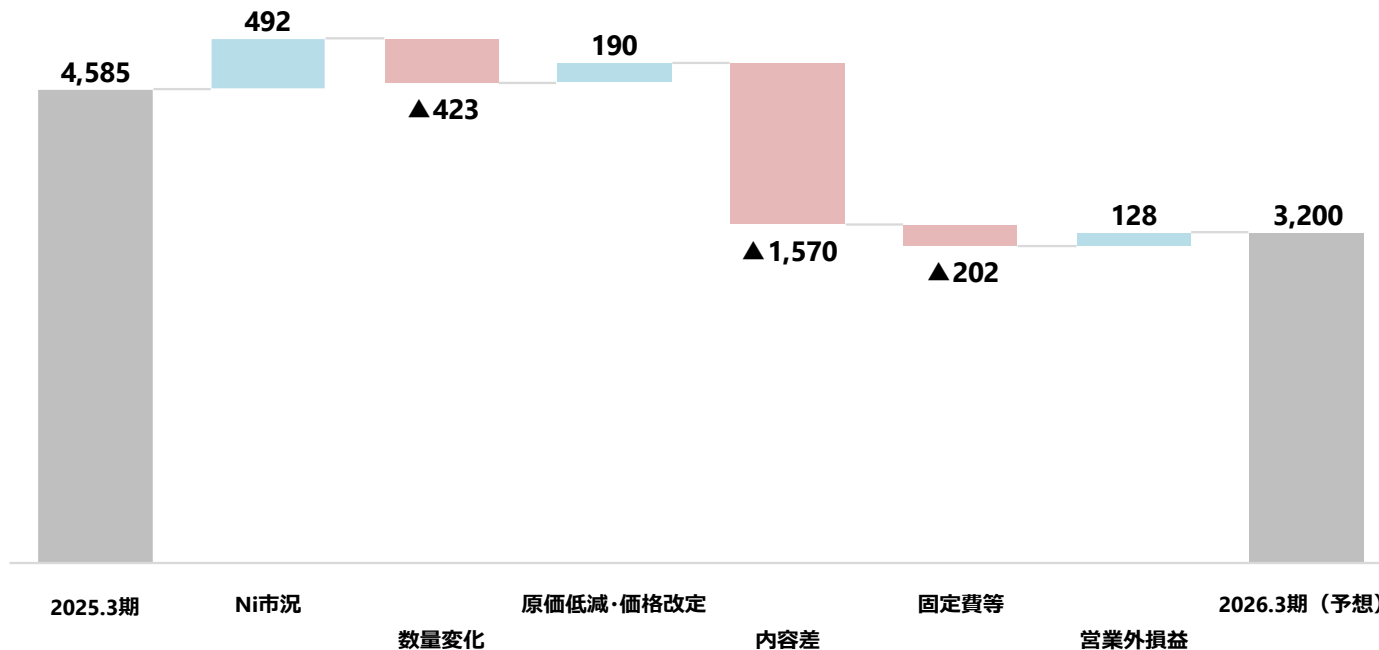
＜高機能・独自製品＞



★ サステナビリティ成長分野に向けた高機能・独自製品の拡販を推進

経常利益の変化要因（当期予想前期対比）

(百万円/年)



サマリー

- ★ Ni市況：Ni価格下落に伴う材料仕入値下がり益の増加
- ★ 数量変化：極細線はじめステンレス鋼線の販売量減少による稼働損増加
- ★ 内容差：極細線の粗利大幅減、金属繊維部門は堅調
- ★ 固定費：労務費増（ベースアップ実施）

	2025.3期		2026.3期	
	中間期	通期	中間期	通期 (予想)
経常利益 (百万円)	2,341	4,585	1,242	3,200
当期純利益 (百万円)	1,609	3,250	902	2,300
配当 (円/株)	28	56	16	42
配当性向 (%)	53.4%	52.8%	54.4%	56.0%

〔株主還元の考え方〕 連結配当性向50%程度を目途に還元

中期経営計画NSG26 取り組み状況報告 (2025年度)



2035年の「ありたい姿」

Micro&Fine Technology を極めて
お客様にとって価値ある製品を独自技術で創り続け、
サステナビリティ社会の発展に貢献し
ステンレス鋼線No.1カンパニーの地位を継続していく

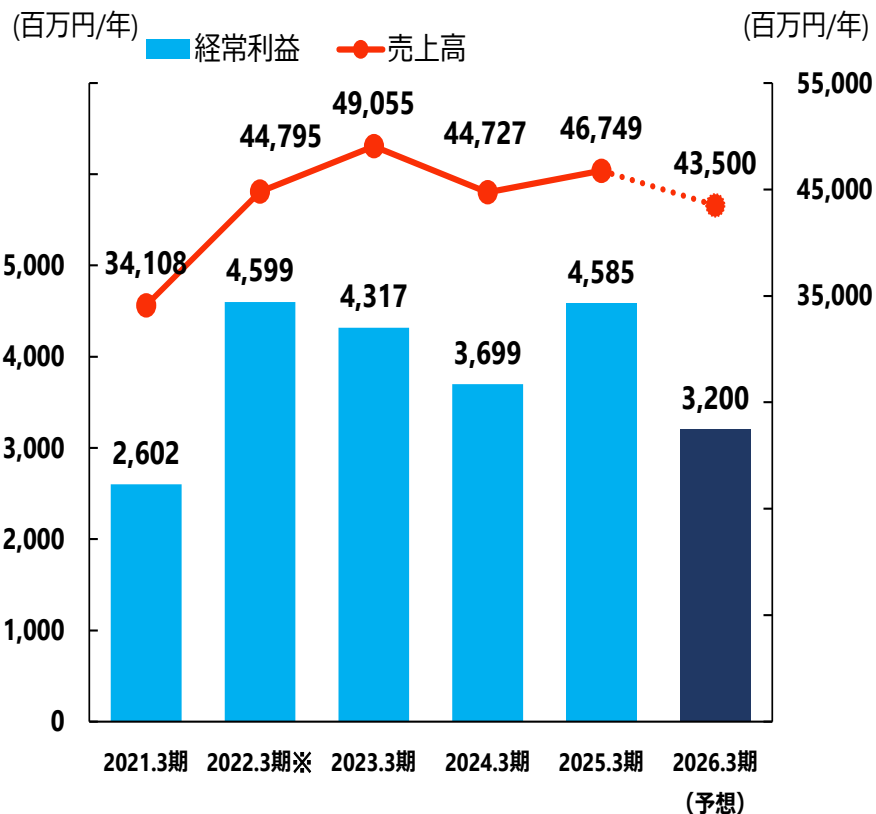
26 中期スローガン

サステナビリティ成長分野へ高機能・独自製品の
開発・拡販と企業価値向上により持続的成長を図る。

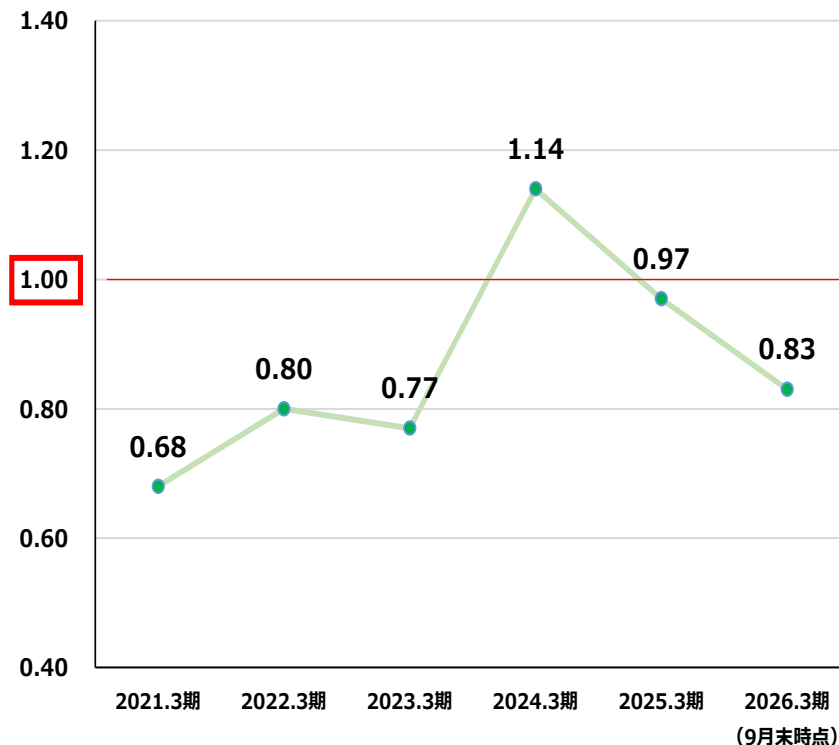
NSG : Nippon Seisen **S**ustainable **G**rowth

	2025.9期 中間期（実績）	2026.3期 （見通し）	2027.3期 （計画）
連結売上高（百万円）	22,478	43,500	50,000
(連結)高機能・独自製品 売上高成長率（前中期平均比）	98%	101%	120%
連結経常利益（百万円）	1,242	3,200	5,200
連結 ROS（経常利益 / 売上高）	5.5%	7.4%	10%
連結 ROA（経常利益 / 総資産）	-	-	10%
連結 ROE（純利益 / 株主資本）	-	-	8%
連結配当性向（配当 / 税引後利益）	54.4%	56.0%	50%程度
CO2排出量削減率（2013年度比）	-	-	▲30%

業績の推移



PBRの推移



ガバナンス強化の取り組み状況

■ 経営の監督機能強化

- ・独立社外取締役を1名増員、取締役の過半数となる4名体制
- ・女性取締役1名増員、多様性強化

■ 有価証券報告書の株主総会前提出

- ・今年度より対応、6月23日（株主総会開催の4日前）に提出

■ 腐敗防止への対応

- ・贈収賄防止規程を制定（2025年10月1日施行）

展示会への出展

【主な出展先（2025年度上期）】

- ・Semicon Southeast Asia 2025（シンガポール）
- ・第37回ものづくりワールド東京 機械要素技術展
- ・国際フロンティア産業メッセ2025
- ・全国の匠の技展2025秋開催

【主な出展製品・技術（高機能・独自製品）】

■ 医療（安全、耐久性、機能性に優れた材料）

- ・医療用ステンレス鋼線（非磁性、高強度）

■ 環境（自然に優しい環境対応材料）

- ・耐水素脆性ばね用ステンレス鋼線（水素関連）
- ・高強度銅系合金極細線（環境負荷物質フリー）
- ・金属繊維ナスロン®、半導体用超精密ガスフィルター



**Semicon Southeast Asia 2025
の出展風景**

- 昨年引き続き機関投資家様向け工場見学会を開催
- 個人株主様向け工場見学会を年2回開催に拡充





発展に貢献し続けます



中期経営計画(NSG26)初年度の経営成績

2024年度は当社の中期経営計画NSG26(Nippon Seisen Sustainable Growth)の初年度にあたります。昨年を振り返ると、連結経常利益は計画を約6億円上回る46億円前で、絶対値としては2021年度をわずかながら下回りながらも、過去最高に近い利益を計上することができました。これは太陽光/パネル用途の機能層の最適化に対

応し9μm機能層の単産を開始したことや、ネスロンフィルターの燃素燃焼向けや高機能フィルム向け用途が好調に推移した結果です。連結配当性向は52.8%と、これも目安の50%を上回っており、CO₂排出量削減率は▲29%と最終年度目標に向けて積極的な削減が進んでいます。

63

日本精線の概要やこれまでの歩み、サステナビリティ経営の取り組みなど記載しておりますのでご高覧ください。

2025年度版を本年9月に発刊しました。

■ 統合報告書2025

URL : <https://www.n-seisen.co.jp/ir/library/integrated-report/>

QRコード →





(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。